

先人に学ぶ

創立119周年を迎える本校の同窓会や教職員の活躍を紐解き、
現代社会で求められている「生きる力」を学びます。

あさかわたくみ

浅川巧

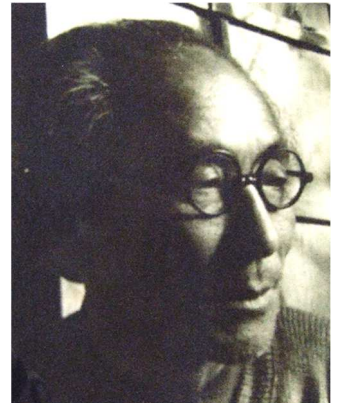


浅川巧は、明治42年度の本郷卒業生です。日本の植民地統治下にあった朝鮮半島において、林業技術者として荒廃した朝鮮半島の山々の緑化に大きく貢献した人物です。また、朝鮮の庶民居住地に居を構え一緒に生活するなかで交流を深め、共助と慈愛の精神で朝鮮の緑化から朝鮮雑器の美意識を高めるなど、朝鮮人との交流に貢献し、今でも日韓交流の懸け橋として活躍した人物として、日本人と韓国人の両国で語り継がれている人物です。

いしはらふみお

石原文雄

石原文雄は、大正7年度の本郷の卒業生です。農民作家と評され、「太陽樹」が新潮賞候補となり、様々な本を出版し、昭和21年「断崖の村」で芥川賞候補になりました。山梨の風土を取り入れ、農民を生き生きと描いた作家であったと評されています。本郷の校歌は、作詞が石原文雄で、現在まで歌い継がれています。



なるやまそうへい

鳴山草平



鳴山草平（本名：前田好照）は、昭和3年から昭和14年まで本郷で教師をする傍ら、投稿活動を行ってきた小説家です。作品には、直木賞候補作にもなった「極楽剣法」、教師体験をもとにした「きんぴら先生」シリーズなど多くの作品が映画化されました。これらの作品は現代の学園ドラマシリーズのはしりとも言われています。

ふくだきねお

福田甲子雄

福田甲子雄は、昭和19年度の本郷卒業生です。俳人として飯田蛇笏・龍太に師事し、山廬賞、蛇笏賞を受賞されました。その作品は、重厚な風土性を特徴とし高く評価されています。俳誌「雲母」の編纂に携わるとともに、句集「蕨火」をはじめとする数々の句集や評論集を出版しています。

